

# 2つの特別アート・トーク

WATARI-UM  
The Watari Museum of Contemporary Art



ワタリウム美術館

150-0001 東京都渋谷区神宮前 3-7-6  
Tel:03-3402-3001 Fax:03-3405-7714  
official@watarium.co.jp

## 1 Reborn-Art Festival 2017 トーク第一弾 「地球史の牡鹿」

出演：**中沢新一**（思想家・人類学者）

+ 岩井優、金氏徹平、パルコキノシタ  
他、参加アーティスト

日時：**10月29日(土) 2016年 19:30-21:00**

場所：ワタリウム美術館

主催：Reborn-Art Festival 実行委員会／一般社団法人 AP バンク



石巻市牡鹿半島荻浜に立つ作品「White Deer」(名和晃平作)



2017年夏、宮城県石巻市市街地と牡鹿半島を舞台に開催予定の総合芸術祭 Reborn-Art Festival2017の準備がすすんでいます。日本で初めてのこの試みのアート部門のキュレーションをワタリウム美術館が行なっています。開催に先立ち制作委員の一人人類学者の中沢新一氏と参加アーティストによるアートトーク第一弾を開催します。特有の物語をもつ牡鹿半島、そこに生息する鹿、今も行なわれている捕鯨についてなど、東北の民俗学と現代美術の不思議な出会いが始まります。

## 2 「直近報告・釜山ビエンナーレ2016、プロジェクト1」

出演：**榎木野衣**（美術評論家）

日時：**11月18日(金) 2016年 19:30-21:00**

場所：ワタリウム美術館

過去最大規模となった釜山ビエンナーレ2016。プロジェクト1では中国、日本、韓国のアヴァンギャルド美術を各国のキュレーターが再解釈のうえ一堂に会しました。この規模では世界でも初の機会となりました。その様子を日本部門のゲスト・キュレーターを務めた榎木野衣が伝えます。



地震で倒れた状態で展示を継続することになった複忠「RPM-1200」  
写真提供＝釜山ビエンナーレ2016事務局



釜山ビエンナーレ2016 プロジェクト1  
釜山市立美術館  
手前から Chim ↑ Pom、折元立身、奥に柳幸典、作品展示風景  
撮影＝平野暁臣

参加費：各 1000 円 ○ワタリウム美術館会員割引有

申込方法：件名「特別アート・トーク参加申込」とし、参加申込書(1. 申込者名 / 2. 参加希望の日付 / 3. ご住所 / 4. 電話番号 / 5. E-mail / 6. 会員番号(ワタリウム美術館会員の方)を、

E-mail：[order@watarium.co.jp](mailto:order@watarium.co.jp) まで送信いただき、併せて、下記の口座へお振込ください。ご入金をもって受付完了となります。○振込先：三井住友銀行 青山支店(普)1033281 (名義)ワタリウム美術館 ○ご入金の方へ、(受付票)を開催日2日前までにE-Mailにて返信いたします(開催日2日前以降は、お振込でのご予約を終了させていただきます)。

ご注意：各回、定員になり次第、メ切いたします。お申込、及び、お振込後の受領確認の返信はいたしませんのであらかじめご了承下さい。定員を超えた場合のみ連絡させていただきます。ご入金後のお客様のご都合による返金はできませんので、ご注意ください。○問い合わせ：ワタリウム美術館 Tel:03-3402-3001 E-mail：[order@watarium.co.jp](mailto:order@watarium.co.jp)